

令和2年度 第2回 見附市まちづくり総合審議会 議事概要

I. 開催日時 令和2年9月28日（月）午後2時00分～午後4時05分

II. 開催場所 見附市役所4階 大会議室

III. 出席委員 渡邊誠介会長、坂田政元副会長、三藤良行委員、徳橋功委員、宇佐美保委員、五井俊一委員、藤嶋弘美委員、佐藤美千代委員、三本由美子委員、木原由美子委員、橋本卓憲委員、渡辺美絵委員（12名）

IV. 会議の概要

1. 開会

【事務局】

開会に先立ち、幹事の変更について報告する。

令和2年9月7日をもって清水副市長が退任し、新たに前金井企画調整課長が副市長に就任した。新規就任に伴い幹事が変更となったことを報告する。

【金井副市長】

本日第2回目の審議会を迎え、前職は企画調整課長としてであったが、この度副市長として本会議で
ご挨拶させていただくこととなった。

これまでも明日の見附の為に尽力いただいておりますが、引き続きよろしくお願ひしたい。

2. 会長挨拶

【渡邊会長】

前回の第1回では計画の策定方針について審議を行った。

2回目となる本会議では、ステップ2として現行計画の評価・検証を行うものとなる。

今後の計画策定に向けた検討材料となる活発な意見をお願ひしたい。

3. 会議の成立

【事務局】

委員の過半数が出席していることから、見附市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により会議が
成立していることを報告する。

4. 議事

（設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ）

（1）「第5次見附市総合計画前期基本計画」の評価・検証について

【事務局】

（資料1）について説明

<資料1-2> (2) 「国保特定健診受診率」

【渡邊会長】

数値悪化となっており、40歳代、50歳代の受診率が低いとのことだが、働いている方が多く忙しいということが要因か。

【事務局】

H30年度の受診率は、40歳代は23.5%、50歳代は28.8%と低くなっている。仕事が忙しいということもあるが、健診を必要と感じている方が少ないということもあるのでは。担当課でも様々な啓発をしていると思うが、なかなか改善していない。

個々の事情に寄り添った方法を検討していきたい。次期計画でも考えていく必要があるテーマだと考えている。

<資料1-2> (6) 「リサイクル率（資源化率）」

【渡邊会長】

分別方法が複雑との分析があるが、分別方法を改善するための提案はあるか。

【三本委員】

主婦は、古紙（段ボールなど）やペットボトルは、スーパーに持っていく人が多いので、そのことが影響しているのではないか。

【事務局】

民間で回収している分は含んでいないので、そのことも影響していると思う。

【渡邊会長】

後期基本計画では目標の立て方を考えてもらいたい。

<資料1-2> (28) 「出生数の維持（4/1~3/30出生数）」

【三藤委員】

広報見附を見ると社会動態で女性の人口減少数は男性の2倍となっている。その理由を把握しているか。

【事務局】

明確な理由は分析できていないが、県全体でも女性の方が、減少数が大きくなっているとの報道があったと記憶している。その理由としては、女性は転出すると、男性よりも戻ってくる数が少ないため。その理由として、文系女性の働き場所が中越エリアで少ないことではないかと考えている。

【佐藤委員】

1~5歳の人口が出生時より多いことの背景は。

【事務局】

・出生時の人口と1～5歳になった時の人口を比較すると増加している。その背景としては、見附市は地の利の良さから「住宅」理由による転入が多く、市外で出産した後に、「住宅」理由で見附市に転入している方がいるということだと考えている。

・「住宅」理由の転入が多いというのは見附市の強みであり、それを生かしたまちづくりを考えていく必要がある。

【三本委員】

出産を考えた際、見附市は産科医院がなく、小児科医が少なくなっているのが問題だと思う。3～4年前に相談対応した際は、見附市の子育て環境に対する評価は良かったが、最近は小児科医が減少していることなどから不安になっている方が多い。数字の分析だけを見るのではなく、具体的な施策を考えていくべき。

【事務局】

「住宅」理由の転入が多いという強みも踏まえ、転入後に2～3子目を出産しやすい環境を整えていくように考えていく必要がある。

【渡邊会長】

子育て世代の転入は強みと思う。2～3子目の出産機会につながる環境整備の課題をどう考えていくかがポイントと考える。各委員の意見を反映して欲しい。

「第5次見附市総合計画前期基本計画」の評価・検証については原案の通りでよろしいか。

≪異議なし≫

(2)「第1期見附市総合戦略」の評価・検証について

【事務局】

(資料2)について説明

<資料2-3>「出生数の維持」

【徳橋委員】

市としてネウボラみつけの役割と具体的な効果に対してどのような評価をしているのか。保育園などで専門的な支援を行う際に、親との考え方にギャップが生じるという課題もある。

【事務局】

ネウボラとはフィンランド語で「寄り添う」という意味で、出産から子育てに寄り添いながら不安を解消していくという趣旨で設置している。これまでは、お子さんへの支援の必要性が就学後に発見されることが多かったが、ネウボラ設置後はその前に把握できるようになり、お子さんの成長に寄与しているものと考えている。親御さんと相談員との間にギャップがあるとのことだが、職員のスキル向上や保育園・学校との連携によりより良い形にしていきたい。

【徳橋委員】

施策の意図を啓蒙していく必要があると思う。

【三本委員】

ネウボラでの話を聞くと、最近では言語がうまく話せないお子さんが多くなっている。子育て段階での家庭での触れ合いが不足していることが1つの要因と思う。親御さんが、子育て方法を学ぶ場の充実が必要と感じる。ここ5～10年そのような場が少なくなっているような気がする。

【渡邊会長】

行政以外の力も重要。市全体で子育てに対する底上げが必要ではないか。後期計画策定の中で受け止めてもらいたい。

【渡邊会長】

総合計画同様に、各評価・検証に関する意見を受け止めて次期戦略に反映して欲しい。

「第1期見附市総合戦略」の評価・検証は原案の通りでよろしいか。

≪異議なし≫

(3) 「見附市人口ビジョン」の見直しについて

【事務局】

(資料3) について説明

【渡邊会長】

何もしないのが社人研の推計値であり、意欲をもって施策に取り組み人口減少を抑制していこうというのが事務局の推計値になる。以前の推計値は現実的に厳しく、その現実を受け入れて事務局で分析したもの。細かい数字を議論するよりも、施策の方向性に対してご意見を頂きたい。

【渡辺委員】

私もこれまでの300人という目標は高すぎると感じていた。また、女性の就労増加や高齢出産も増えてきている現状もあり、死産や流産のリスクも考慮する必要がある。女性は、一度流産をすると精神的なダメージが大きく、次の出産をためらう。そのような声を吸い上げながら、サポートしていく必要があるのではないか。

【渡邊会長】

デリケートな話なので、前面に出しての施策は難しいと思うが、行政がケアサポートを促していく必要があると思う。

【三藤委員】

- ・資料3の6ページ「第2子以上を出産したくなる」という表現は問題ないのか。
- ・1人の女性は何人のお子さんを希望しているのか。

【三本委員】

- ・1人の女性が何人のお子さんを希望しているかは出産時の年齢によると思う。高齢の場合は1子で精いっぱい考えるし、若い方は2～3子を出産したいと思う方もいるのではないか。
- ・見附市は、高齢者に対するボランティアなどは整っているが、若い人向けの施策が少ないと感じる。地域コミュニティの活動に参加しても、高齢者の方が多く、どうしても高齢者向けの事業になる。若い人が考え、意見を出してもらい、それを生かしたほうが良いと思う。

【佐藤委員】

見附市内には県立高校が1校しかなく、市外の学校に進学しそこで就職するケースが多い。大学においても首都圏に進学しそのまま戻ってこないケースが多い。見附市に留まってもらうための施策を考える必要があるのではないか。

【木原委員】

イングリッシュガーデンには若い人や赤ちゃんを連れての方が多く来園している。魅力があれば来ていただけるので、その魅力をPRしていくことが大事では。また、2子目を出産しやすい環境としては、面倒を見てくれる祖母がいなくても働きながら、子育てができる環境整備が必要ではないか。

【佐藤委員】

イングリッシュガーデンの話に関連して、見附駅に行っても市内の見どころがどこかわからない。他の地域のように、駅周辺で見附の見どころがわかるような場所があると良い。

【三藤委員】

4子目以上に経済的支援を充実する方法もあるのでは。

【三本委員】

経済的支援よりも母親が第1子を出産し、その後の子育ての中で、子供ができて良かったと思えるかが重要であり、その手助けを充実していく必要がある。地域全体で子育てを支援していくまちとなることが重要。

【渡邊会長】

施策の方向性の中で、Uターンに関して企業に就職するという選択肢だけではなく、起業という選択肢も追加したほうが良いのではないか。

【渡邊会長】

人口ビジョンに対し、各委員から多くの意見を頂戴した。本意見を今後の施策へ反映させて欲しい。

「見附市人口ビジョン」の見直しについては原案の通りでよろしいか。

《異議なし》

(4) その他

【事務局】

次回開催は、11月9日（月）午後2時から。施策の内容について審議予定。

以上